

(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名	熊本県美里町
本事業の担当部局名	美しい里創生課

事業メニュー	結婚新生活支援事業				
区分	都道府県主導型市町村連携コース				
関連事業メニュー	4.2 結婚新生活支援事業(都道府県主導型市町村連携コース)				
個別事業名	美里町結婚新生活支援事業			新規／継続 (一般財源での実施も含む)	継続
実施期間	令和7年4月1日	～	令和8年3月31日	事業開始年度	令和3年度
総事業費(A)(円)	3,600,000	寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0	差引額(A-B)(円)	3,600,000
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	3,600,000				
費用内訳 (円)	個別事業の内容のとおり				
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け	<自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 第2期美里町まち・ひと・しごと創生総合戦略の中で、「未婚率は増加傾向であり、全世代で熊本県よりも高くなっている中でも特に、20～39歳で高い値となっており、「このことは少子化の要因の一つとして考えられる」としており、少子化対策として、『若者の結婚へ繋がる環境の創出』を図ること及び出産と子育てにおいては、『母子保健体制、保育サービス、教育等の充実に努め、若年層の重要なライフステージを切れ目なく支援』することを基本的方向として定めている。 <本個別事業の位置付け> <当年度の少子化対策の全体像>※全事業共通 これまでの施策を踏まえ、若者の結婚へ繋がる環境の創出を図り、子どもへの支援を行うことで、経済的負担軽減に取組むことを方向性としている。町では結婚へつなげる環境の創出を図ることを目標に掲げている。				

個別事業の内容

1. 概要

【対象費用】

☐ 住宅取得費用

☐ 住宅リフォーム費用

☐ 住宅賃借費用

☐ 引越費用

【補助対象要件】 原則として国基準とし、自治体独自基準による場合は当該欄に記載

所得要件	国基準	夫婦の合計所得が500万円未満
	自治体独自基準	
年齢要件	国基準	夫婦ともに婚姻日における年齢が39歳以下の世帯
	自治体独自基準	

【補助上限額】 原則として国基準とし、自治体独自基準による場合は当該欄に記載

29歳以下の場合	国基準	各費用に係る合計が60万円
	自治体独自基準	
39歳以下の場合	国基準	各費用に係る合計が30万円
	自治体独自基準	

【その他独自要件】

2. 申請見込

①新規世帯見込

6	世帯
上記のうち	
ともに29歳以下	6 世帯
その他	0 世帯

②継続補助世帯見込

(継続補助規定の有無)

0 世帯

有

【世帯数積算根拠】

・申請見込については、今後これまで以上に周知を徹底し、令和6年度の当事業における支給実績3件の2倍をを目指す

(参考)

【令和6年度申請状況】

実施中

申請世帯数見込	3	世帯
～12月(実績)	2	世帯
1月～3月(見込)	1	世帯

【金額積算根拠】

<上限額>

(29歳以下)	6	世帯	×	600,000	円	=	3,600,000	円
(その他)	0	世帯	×	300,000	円	=	0	円
				(継続補助)			0	円
				合計			3,600,000	円

<左記の上限額の合計を使用しない場合の積算>

3. 広報の実施予定

ホームページでの周知のほか、チラシの印刷をし窓口にて配布する。

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	公的結婚支援による成婚者(結婚新生活支援事業)		件	6 (R7年度)	3 (R6年度見込み)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			-	
	婚姻件数		件	19 (R6年度)	
	婚姻率			2.2 (R6年度)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
	(アウトプット)				
	①	支給世帯実績/支給見込世帯数の割合	%	100 (R7年度)	50 (R6年度見込)
	(アウトカム)				
	①	結婚新生活支援事業に関するアンケートにおける「本事業の認知度」	%	100 (R7年度)	100 (R6年度見込)
	②	結婚新生活支援事業に関するアンケートにおける「地域に支援されていると感じた世帯の割合」	%	100 (R7年度)	100 (R6年度見込)